

白神ねぎ



○長ねぎ栽培について

【病害】

本格的な梅雨入り前の「べと病」防除を忘れずに!!

リドミルゴールドMZ、フォリオゴールド、レーバスフロアブルなど

※近年はさび病も見られますので要注意。

○軟腐病・白絹病の予防について

薬散の仕方

・軟腐病 → オリゼメート粒剤
(株元へ散布後土寄せ)

・白絹病 → モンカット・モンガリット粒剤など(土寄せ後株元へ)

【害虫】

今後気温が高くなれば、害虫の発生が多くなるので注意。

- ・ネギハモグリバエリーフガード顆粒水和剤、ベストガード粒剤など
 - ・ネギアザミウマダントツ粒剤、ハチハチ乳剤、アグロスリン乳剤、ディアナSC など
- ※害虫の食害痕が軟腐病の原因にもなり得ます!!
- ※干ばつの影響で虫の発生が多いため要注意!!

白神山うど



○山うど栽培について

【植え付け後の管理】

- ・除草を兼ねて定期的に畝間部分の中耕し、雑草を抑えましょう。
- ・6月中旬から下旬(草丈で50~60cmの頃)に除草を兼ねて畝間部分の中耕し、1葉目が隠

れる程度に培土します。

- ・7月上旬~中旬に除草を兼ねて2~3葉目が隠れる程度に培土します。極端に多く培土するとほり芽が多くなるので注意して下さい。
- ・中耕・培土を行う際、生育の悪い場合は追肥用化成(S646など)でN成分3~5kg/10aを追肥して下さい。

白神みょうが



○みょうが栽培について

根茎腐敗病対策として、ユニフォーム粒剤をまだ散布していない方は収穫30日前まで散布し

て下さい。

10a当たりの散布量は18kg、使用回数は2回までとなっていますので、使用量、使用時期、使用回数に注意して、雨降り前に散布して下さい。

白神きゃべつ



○きゃべつ栽培について

コナガ・アオムシ等の防除については、より高い防除効果を得るためには、若齢幼虫期からの防除を実施しましょう。

また、菌核病については前年に発病が見られた圃場では、結球始期からの予防に努めましょう。

【コナガ・アオムシ】

ハクサップ水和剤 1000倍~2000倍(収-前日)
コテツフロアブル 2000倍(収-前日)
フェニックス顆粒水和剤 2000倍~4000倍(収-前日)

【菌核病】

トップジンM水和剤 1000倍~1500倍(収-3日前)
アフエットフロアブル 2000倍(収-前日)
オンリーワンフロアブル 1000倍~2000倍(収-前日)

農業簿記ソフト「ソリマチ」を利用した 農業経営管理支援システムについて

5月にチラシを配布していますが、随時税務申告支援の申込みを受付けしておりますので、申込みされる方は営農企画課(55-0777)までご連絡下さい。